

Q 胆石症といわれました。 どのように治療すればいいですか？

回答：市立貝塚病院

外科・消化器外科 主任部長 金鏞国医師



A 成人の約10%に胆石を認める頻度がきわめて高い病気です。

無症状でも年2〜4%が何らかの症状を表すとされ、放置すれば激しい胆石発作、急性胆嚢炎・胆嚢炎をきたし、

入院治療が必要となります。重症化すれば敗血症や黄疸・肝機能障

種類や大きさ、数に応じて経口胆汁酸胆石溶解療法、体外衝撃波破砕療法を併用しますが、

治療が長期間に及び胆嚢を摘出していないため、再発・再燃する恐れがあります。

すでに症状のある方、無症状であっても年齢の若い方や結石の多い方、

再発を恐れるなら手術

害を起こして命に関わる危険があり、胆嚢癌が混在する場合もあります。できるだけ早く腹部超音波検査、CT、MRIなどの詳しい検査と適切な治療を受けることが大切です。

無症状の場合は腹部超音波検査での定期的な経過観察や、胆石の

胆嚢機能が低下している方の治療は、手術療法で腹腔鏡下胆嚢摘出術を行います。手術時間は1時間程度で開腹手術に比べ創部が小さく痛みが少ないことから早期退院・社会復帰が可能です。当院では、若い女性の方など創部を出来るだけ小さくし

無症状の場合は腹部超音波検査での定期的な経過観察や、胆石の



腹腔下胆嚢摘出術(単孔式)



腹腔下胆嚢摘出術(通常型)

たい場合は、傷がへそに1ヶ所しかない単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術も行っています。

問 072・4222・5

865 市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

<http://www.hosp.kaitzuka.osaka.jp/>

kaizuka.osaka.jp/